

令和元年度 第6回海老名市子ども・子育て会議 次第

日 時：令和2年1月20日（月）午前10時～
場 所：えびなこどもセンター 201 会議室

1 開 会

2 議 題

(1) 第2回パブリックコメントの結果報告【報告事項】

(2) 第2期海老名市子ども・子育て支援事業計画素案について【審議事項】

3 第2期海老名市子ども・子育て支援事業計画策定に向けた答申

4 閉 会

< 資 料 一 覧 >

【資料1】 修正一覧

【資料2】 パブリックコメント実施結果

第 2 期海老名市子ども・子育て支援事業計画 素案 ～ 修正一覧 ～

該当ページ	修正箇所	修正内容
—	市長あいさつ文	写真の差し替え
		文章の一部変更
P 3	計画の位置づけ	2 段落目最終行の「部門別計画として～」を「個別計画として～」へ変更
P 8～9	施策の体系	基本目標 3 の基本施策（2）と（3）に紐づく支援事業を反対に訂正

はじめに

現在、海老名の人口や出生率は増加しているものの、今後は緩やかに減少していき、令和6年には市の総人口に対する小学生以下の子どもの割合が1割を切る予想となっています。そうした中、海老名の将来を担う子どもたちの可能性を広げ、また、各ご家庭が安心して子育てができる環境を整えられるよう、「第1期海老名市子ども・子育て支援事業計画」



を平成27年度に策定し、子育て世帯の目線に立った切れ目ない支援の充実に取り組んでまいりました。

令和2年度から始まる「第2期海老名市子ども・子育て支援事業計画」では、第1期計画の評価を踏まえつつ、進行する少子化や幼児教育・保育の無償化など、子どもを取り巻く社会情勢の変化に対応した内容として、これまでの計画を発展させたものです。

これからの海老名の子育て支援の目指すべき姿として、平成30年に開設した「えびなこどもセンター」を象徴に、「第2期海老名市子ども・子育て支援事業計画」の基本理念に「はぐはぐ EBINA HUGHUGえびな宣言のもと 子どもの笑顔が輝く魅力あふれるまち えびな」を掲げ、子どもたちが元気で健やかに育つことができるまちづくりに努めてまいります。

最後に、本計画の策定にあたり、活発なご議論・ご提言を賜りました海老名市子ども・子育て会議委員の皆様、ならびに市民意向調査に多大なご協力と貴重なご意見をいただきました市民の皆様に心より感謝申し上げます。

令和2年3月

海老名市長 内野 優

第2期海老名市子ども・子育て支援事業計画骨子案に対するパブリックコメントの実施結果について

1 結果の概要

- 意見募集期間 令和元年12月16日（月）から令和2年1月15日（水）まで
- 意見提出者数 6件
- 提出意見件数 13件

2 意見 及び 回答内容

No.	提出されたご意見（要約）	ご意見に対する考え方 及び 計画への反映
1	<p>○ 駅間開発で計画されている3棟目の小田急タワーマンション、ピアメカニクス跡地に建設される予定の500世帯規模の2棟のマンションなど、現時点でも人口増加が見込まれるなか、4月の保育所申し込みが年々増加する事実があるにも関わらず、素案のP48から記載のある量の見込みについて、平成31年1月に実施されたニーズ調査等を根拠に、令和2年度以降は減少傾向と捉えて計画を策定するのは非常に危険と感じます。不確定要素を含む将来予測をする場合、上振れリスク、下振れリスクを想定して計画</p>	<p>保育所などの量の見込みを設定している事業につきましては、少子化の現状を踏まえつつ、平成31年1月に実施したニーズ調査の結果を基に、トレンドや政策動向、地域の実情等を十分に考慮したうえで算出しています。ただし、各事業の需要量については、計画策定後も随時利用意向の把握に努め、計画の見直しも含め、柔軟に対応いたします。</p>

	<p>を策定してはいかがでしょうか。需要量を一点決め打ちで計画が策定されているように感じ、危機感を覚えます。今一度、リスク管理の観点から、どうすればあらゆる状況に耐えられる計画になるか、可能な限り見直して頂ければと思います。</p>	
2	<p>○ 支援事業No.2「保育所充実事業」について</p> <p>駅周辺のマンション新設ラッシュは市も把握しており、子育て世帯の転入による保育園不足や待機児童・保留者の増加は予想できたことかと思えます。保育園の新設や認定こども園の増設計画もあるようですが、現時点で間に合わない家庭もあり、早急な対策を望みます。既存施設の活用として、他市で行っている送迎ステーション（需要の多い駅周辺での一時預かりや比較的空きの出やすい施設への送迎など）も検討いただければと思います。</p> <p>○ 支援事業No.22「すこやかマタニティスクール」について</p>	<p>○ 支援事業No.2「保育所充実事業」について</p> <p>待機児童の解消に向けた取り組みについては、本計画P44～45において掲載しております。少子化が進むなか、海老名市の保育所申込者数は増加しており、申し込みの集中している海老名駅や相鉄線沿線地区を中心に、保育所の新設・増築による定員拡大に努めつつ、既存施設の有効活用についても取り組んでいます。</p> <p>いただいたご意見も参考に、様々な角度から研究・検討を進めてまいります。</p> <p>○ 支援事業No.22「すこやかマタニティスクール」について</p>

	<p>内容は大変良かったのですが、開催日が平日の昼間3日連続ですと、参加対象月が産休前に設定されているため、休みが取りづらく参加できない方もおられるかと思えます。土曜開催や平日14時以降など、日時設定を工夫して頂けると参加者も増えるのではないかと思います。</p>	<p>実施内容や実施回数など、より多くの方が参加できるように令和2年度から事業日程に工夫を加える予定です。</p> <p>引き続き、参加しやすいように随時検討を行っていく計画としています。</p>
3	<p>○ 支援事業No.30「乳幼児予防接種」とは別に、小中学生までインフルエンザ予防接種の支援事業を検討していただきたく思います。インフルエンザの伝播をしやすい小中学生に集団免疫を達成することは有意であり、小中学校での流行を予防することは医療費の削減にも繋がります。</p>	<p>現在、インフルエンザワクチンを集団接種する事業の予定はなく、海老名市単独での実施を拡大するという検討は行っておりません。</p> <p>引き続き、国や近隣市の動向を確認しながら研究してまいりたいと思います。</p>
4	<p>○ 0～6歳の子どもたちが大声を出して元気で外遊びできるように。</p> <p>○ 子どもたちが不公平のなかで保育所に入園している。保護者の給与や労働条件などの改善に向けた対応を望む。</p> <p>○ 預かり時間を土・日・祝日の条件で分散することで、一部に集中している入園希望を平均化することが可能。</p>	<p>ご意見として賜ります。</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ○ 0～6歳の子どもたちにサービスを集中することで、その後の人生が充実する。 ○ この5～10年の子どもへの投資が10年後の海老名に良い結果が出ることを望む。 ○ 外国人の保育所の対応として、地域の実情に応じた対応が必要。 	
5	<ul style="list-style-type: none"> ○ 現在、海老名駅西口にはマンションが乱立しており、転入者が増え西口付近の保育園は倍率が非常に高くなっています。ずっと海老名に住んでいたにも関わらず、0歳児クラスに申し込んで落ち、来年の1歳児クラスにも受かるかわからない状況です。このままだと職場復帰ができなくなり、失職してしまいます。そこで、入園基準の指数に下記のどちらかの項目を追加していただけないでしょうか。 <ul style="list-style-type: none"> ・海老名市在住で前年度申し込み実績がある場合、翌年加点 ・居住年数による加点（豊島区や荒川区の制度を参考に） 	<p>入園基準における加点方法につきましては、公平性の観点から検討を重ねております。本件につきましては、ご意見として賜ります。</p>

6	<p>○ 計画内の基本施策（3）学童保育施設等の充実について、3つの支援事業、それぞれの方向性の違いから計画の指標となるものに違いがあるのは理解ができますが、3つの事業を並列に扱うならば、共通した数字を指標として掲載してみてもいかがでしょうか？</p> <p>○ 78ページ（3）ポートフォリオ分析からみた、重点課題（タイプD）の整理 について関係機関と協力し、より良い事業が展開されるよう望みます。</p>	<p>○ 支援事業No.16～18については確かに学童保育施設等の充実という基本施策内の事業ではありますが、各事業ではそれぞれ異なった事業内容・事業形態で展開をしております。そのため目標とする指標についてもそれぞれ異なってしまうことをご了承ください。</p> <p>○ 重点課題（タイプD）の事業につきましては、ご期待に添えるよう、関係機関と協力して計画の管理・運営及び評価を実施してまいります。</p>
---	--	--